

志賀原子力発電所サービス建屋内  
ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について

平成15年6月27日

本日（6月27日）午後3時30分、北陸電力より定期検査中の志賀原子力発電所1号機のサービス建屋内ドライクリーニング設備において、クリーニング溶剤蒸留器の溶剤残渣が飛散し、作業員1名にかかるという事象が午前11時に発生したとの連絡があった。

この件に関しては、

- ①放射線管理区域内の事象であり、外部へ漏えいがないこと
- ②飛散した量が約160ミリリットル、放射能濃度が約10ベクレル/ミリリットル、全量で約1,600ベクレルであることから、国への報告基準（ $3.7 \times 10^6$ ベクレル）よりも低いことから、発電所外部への影響はないと考えている。

また、溶剤残渣がかかった作業員についても、被ばくがなかったということであるが、作業状況、被ばく管理状況等の確認のため、本日、立入調査を実施する。

北陸電力プレス発表資料：<http://www.rikuden.co.jp/news/03062701.pdf>

連絡先

石川県原子力安全対策室(内線 4231)

TEL 076-225-1465